

STORY 1

「菊池川大河物語①」
〜菊池川の恵を受けた人々〜

Route

「菊池川流域で栄えた者たちを辿る旅」



和水町



江田船山古墳

清原古墳群の中で最古・最大の前方後円墳。国宝である銀象嵌銘をもつ大刀のほか、豊富な副葬品が発掘された。地域の有力者の墓であったと言われている。

菊池川流域で栄えた名主・豪族たちの生涯と歴史を知る
広大で肥沃な菊池川流域は、古来より軍事的拠点として、また豊かな穀倉地帯として重視され続けた地。平安時代になると、二十四代にわたり九州で覇権を握った菊池氏が台頭、肥後国最大の豪族・武士へと成長した。菊池氏以外にも菊池家家臣で肥後国衆一揆を率いた隈部氏、和仁氏などもこの地で親しまれている一族である。



山鹿市

歴史公園 鞠智城

大和朝廷が大宰府政庁を護るために築いたと考えられる古代山城。現在の建物は復元されたもの。

菊池市



菊池神社

菊池氏約450年の歴史を伝える神社。菊池一族の資料などが残る歴史資料館も敷地内に併設する。

和水町

古代石切場跡

舟型石棺などに使われたと思しき石を切り出した跡地。地域に有力者が存在していた証とも考えられる。

菊池市

菊池武光公騎馬像

15代当主である武光の像。筑後川の戦いなどで活躍し、九州における南朝勢力の優勢を確立した。

和水町

田中城跡

肥後国の国人、和仁氏が本拠とした城。肥後国衆一揆の際に、最後まで抗戦した城のひとつ。

山鹿市

あんずの丘

食事処や直売所、大型遊具を備えた広場などがある施設。敷地内に隈部親永公の銅像もある。

山鹿市

隈部氏館跡

戦国時代に周辺を治めていた隈部氏の居城跡。標高340mほどにあり、永野城、猿返城とも言われる。